



同窓会報

題字：56回生（平成18年度卒業）菊 地 太 紀



～2020春 大高の桜～

❖ 目 次 ❖

人生は、努力にあり！	会長 山 口 康 文	2
コロナ禍の1年	校長 吉 田 祥	2
同窓会事務局より		3
特集「大船渡学」	校長 吉 田 祥	4・5
同窓生だより 『きっかけは友人の一言』 第41回生 坂 本 有 希		6
令和2年度 部活動戦績(全日制・定時制) 進路状況		7・8

人生は、努力にあり！

同窓会長 山口 康文



今、社会は、新型コロナウイルス禍にあり、私たちは、日常からルールを守り、行動をさらに制限して健康への影響を阻止しなければならない。この厳しい経済社会の中でも、協力しあって、前向きに歩んでいきましょう！

私の浅学非才では、ウイルス学は、19世紀末が始まりと言われている。これまでに多くのウイルスが発見された。1892年ロシアの微生物学者ドミトリー・イワノフスキイがタバコモザイク病の病原が細菌濾過器を通過しても感染性を失わないことを発見した。それは、細菌より微小で光学顕微鏡では観察できない。後にオランダのマルティヌス・ベイエリンクは、ろ過された生命を持った感染性の液体と呼んだ。

さて、「人生は、努力にあり」とは、1840年、埼玉県に生まれた渋沢栄一の名言である。経済、実業家だけではなく、慈善家であり、社会福祉や国際親善、国際平和運動に尽力され、2回ノーベル平和賞候補になった。幼少期から算盤が得意で商才があり、多数の企業設立に関わり、500以上の多種会社の設立経営に論語を活かした経営哲学で広く知られている。2024年発行の新1万円札に渋沢栄一の肖像が載る、裏は、東京駅。その日を待ち望み、心が馳せる。私は、本校大船渡高校卒業から6年間、東京での学校、実社会の中で経験豊かな先輩方から、先人達の生まれ育った地域、風土、その後の足跡と修学について教わった。

「人は、成功する者の要素に智力の必要なことは、勿論だが、努力なしでは、達成できない。だから努力を惜しまないことだよ！」と東京日本橋、人形町で私へアドバイス。今も忘れない大きな先輩達だった。

終わりに、この新型コロナウイルス感染症が収束して、未来ある若い同窓生に1日も早く、明るい、豊かな社会が来ることを願う、努力の先に期待したいものだ。

コロナ禍の1年

校長 吉田 祥



同窓生の皆様には、コロナ禍の中においても、母校の教育活動に対し、深いご理解とご支援を賜りまして心から感謝申し上げます。コロナ禍の影響で、主たる活動の場である総会・各支部総会等が、中止を余儀なくされたことに対する会員の皆様の無念さは想像に難くありません。もちろん我々教職員も同じ思いであります。

さて、昨年12月に、中国雲南省で発生したとされる新型コロナウイルス感染症の拡大は一向に収束せず、欧米ではワクチン接種が開始されたもののアナフィラキシーショック等の副反応が危惧されており、コロナ禍はまだまだ先行き不透明で、長期間にわたって継続しそうな気がいたします。ちなみに、ふるさと岩手は日本で唯一感染者“ゼロ”を7月28日まで堅持していましたが、残念ながら12月20日現在では335名を数えています。何はともあれ、100年前のスペイン風邪のパンデミックの二の舞にならないように、1日も早い終息を心の底から念願しているところです。

ところで、昨年度の大高は、創立70周年記念事業・プロ野球選手誕生・東大現役合格等、数多くの明るい話題に溢れて多忙を極めましたが、今年度は世の中と同様に、あらゆる行事・大会等が中止・縮小に追い込まれて、何とも不完全燃焼的な日常が展開されることとなりました。これに伴って、胸を彈ませ楽しみにしていた活躍や発表の場を奪われてしまった生徒、特に3年生は大変気の毒で心中察するに余ります。このような状況下ですから、学校としましては、せめて生徒・教職員から感染者を決して出さないように、今後とも引き続き、注意喚起を含めて感染防止対策の万全を期して肅々と取り進めていく覚悟です。

結びに、後輩たちが東北高校新人大会における陸上女子七種競技4位入賞、県高校新人大会における空手道男子団体形及び個人組手マイナス68kg級優勝、男子団体組手及び個人形・ソフトテニス部女子団体・柔道男子個人66kg級準優勝と数々の素晴らしい成績を収めたことをご報告するとともに、次年度が誰もが生き生きと明るく過ごせるような年になりますようご祈念申し上げ、あいさつに代えさせていただきます。

同窓会事務局より

令和2年度は「新型コロナウィルス感染症」の対策のため、入学式、卒業式、部活動、修学旅行など様々な学校の取り組みが縮小・制限されました。同窓会活動においても、本部総会をはじめ各支部の総会が中止となり、諸活動が制限されました。同窓会の予算は、これに伴い在校生から徴収する会費を2ヶ月止めた補正予算のもと運営しております。何卒、ご理解の程よろしくお願ひいたします。次年度以降、同窓会がコロナ以前のような活動に戻り、同窓会の団結の和を広げながら、母校を教育活動を支えていきたいと思います。

■令和2年度 活動計画および経過報告

期日	活動名	場所	備考
4月2日(木)	会計監査	大船渡高校応接室	
4月8日(水)	入学式	大船渡高校第1体育館	全日制159名、定時制5名が入学。縮小開催で実施。
4月16日(木)	第1回三役会	大船渡高校応接室	理事会について
6月8日(月)	第1回常任理事会	大船渡高校大会議室	事業報告、会計報告、事業計画、予算案について
6月下旬	同窓会総会		中止（コロナ感染拡大防止のため）
7月下旬	盛岡支部総会		中止（コロナ感染拡大防止のため）
9月上旬	仙台支部総会		中止（コロナ感染拡大防止のため）
10月24日(土)	関東支部総会		中止（コロナ感染拡大防止のため）
11月4日(水)	三役会(臨時)	大船渡高校応接室	補正予算、今後について
11月7日(土)	関東支部同窓会役員会		総会に代わる役員会をオンラインで開催。
2月9日(火)	第2回三役会		
2月28日(日)	同窓会報(第46号)発行		
2月28日(日)	同総会入会式	大船渡高校夕星ホール	全日制156名、定時制7名が入会。
3月1日(月)	卒業式	大船渡高校第1体育館	縮小開催で実施予定。全日制156名、定時制7名卒業。

■令和2年度 同窓会一般会計予算

〈収入の部〉				(単位：円)
科目	前年度予算額	本年度予算額	補正予算額	摘要
1. 会 費	1,908,000	1,762,200	1,409,760	全日制：476人×360円×10ヶ月→8ヶ月 定時制：18人×270円×10ヶ月→8ヶ月
2. 繰 越 金	354,230	362,762	362,762	
3. 雑 収 入	70	38	38	預金利息
合 計	2,262,300	2,125,000	1,772,560	

〈支出の部〉				(単位：円)
科目	前年度予算額	本年度予算額	補正予算額	摘要
1. 記念事業基金	700,000	700,000	850,000	記念事業積立
2. 卒業記念品	250,000	250,000	250,000	印鑑、卒業証書ファイル
3. 役員派遣費	400,000	400,000	107,560	各支部総会等派遣、歓送迎会役員会費
4. 部活動補助費	50,000	50,000	50,000	
5. 会報印刷費	150,000	80,000	80,000	2月に1回発行
6. 総会費	170,000	160,000	0	本部総会補助
7. 役員会費	120,000	100,000	100,000	三役会、常任理事会、監査
8. 支部費	200,000	200,000	200,000	関東8万・仙台7万・盛岡5万
9. 事務局費	80,000	60,000	60,000	通信費、事務用品等
10. 慶弔涉外費	40,000	40,000	40,000	お祝い等
11. 広告費	90,000	80,000	30,000	各種大会、本部総会案内等
12. 予備費	12,300	5,000	5,000	
合 計	2,262,300	2,125,000	1,772,560	

■令和2～3年度 同窓会役員

★…新任

役職	氏名	回生	卒業年
名譽顧問	柏崎博夫	1	昭27.3
顧問	中村範夫	1	昭27.3
顧問	佐藤隆衛	8	昭34.3
長	山口康文	18	昭44.3
副会長	熊谷勵	17	昭42.3
副会長	熊谷孝嘉	30	昭56.3
副会長	千葉信哉★	24	昭50.3
副会長	刈谷由里★	27	昭53.3
副会長	吉田祥	校長	—
監事	今野義尚	12	昭38.3
監事	鈴木信男	18	昭44.3

事務局

役職	氏名	回生	卒業年
事務局長	大平昌次	—	—
事務局次長	山崎泰平	59	平22.3
局員((定)副校長)	吉田亨	34	昭60.3
局員	村上浩紀	41	平3.3
局員	佐々木崇	29	昭55.3
局員	総務課職員他5名		

常任理事(支部長)

役職	氏名	回生	卒業年
大船渡北	村上國充	24	昭50.3
大船渡南	新沼丞	29	昭55.3
盛	千葉省三	10	昭36.3
猪立	千葉博光★	22	昭48.3
日頃	今野節夫	16	昭42.3
赤崎	上野博幸	16	昭42.3
赤崎	森将人	9	昭35.3
未崎	吉田忠雄	9	昭35.3
陸前高崎	中池忠司	9	昭35.3
陸前高崎	中山雅之	32	昭58.3
三陸	熊澤正彦★	27	昭53.3
住岡	荒木健彦	20	昭46.3
盛岡	及川忠人	14	昭40.3
関東	鈴木毅	10	昭36.3
仙台	熊谷淳	29	昭55.3

会長委嘱常任理事

役職	氏名	回生	卒業年
常任理事	菅野八重子	16	昭42.3
常任理事	菅原和子	18	昭44.3
常任理事	鈴木一志	18	昭44.3

生徒の「自走力」向上に注眼を置いた 『大船渡学』における取組

岩手県立大船渡高等学校 校長 吉田 祥

はじめに

「大船渡学」が産声を上げて5年目を迎えた。この間、毎年改良を加え、より良い形を求めて深化に努めてきた。当初、地域課題探求の色合いが濃かったが、現在では、生徒自らが主体的に、自分の将来像を導き創造するために、必要な知識や行動・考え方を引き出す探究の場として、大きな役割を果たすまでに至っている。

一般に、「総合的な探究の時間」は各学年1単位(計3単位)で展開されるが、本校では、昨年度より1・2学年各2単位、3学年1単位(計5単位)で展開している。1・2学年の2単位中1単位分は、夏期・冬期休業中の課外を廃止し、5日間の特別授業(「夏の陣」、「冬の陣」)に置き換えて充当している。本寄稿では、今年度1・2学年の取組の概要について紹介したい。



1. 具体的実践内容(予定含む)

(1) 通常授業における実践

① 1学年

到達点を「自分の学びたいことが明確化され、その学びたいことと、他者の視点、高校の各教科の学びをつなぎあわせ、未知に対して対峙できること」と設定した。

前期は、オリエンテーションの「大船渡学とは?高校での学びとは?」を皮切りに、「『アフターコロナ』の社会を表現するⅠⅡ」、「『自分の興味関心』と社会・地域をつなぐ」等のテーマに関するペア・グループワークを重ね、夏休みのアクション(アフターコロナにつながる取組の実践)に向けた準備(チーム作り・計画書・ブラッシュアップ)を経て、「夏の陣」本番を迎える形とした。

後期は、「夏の陣」の振り返りと次のアクションへの芽出し、自分の興味・関心を学問と結びつけることを起点として、「自分の専門性を活かして誰かを幸せにすることを考える」、「自分の実践と学問をつなげてみよう」、「課題設定とは」等のテーマについて、ワークを展開し、夏休み同様に冬休みのアクション(自分の興味関心を地域や社会にひろげ、誰かを幸せにしてくる取組)に向けて準備して「冬の陣」に臨む予定である。最終的には、「冬の陣」の成果を全生徒が共有する目的で、「大船渡学」発表会及び振り返りを行い、2学年の取組に繋いでいくことを想定している。

② 2学年

到達点を「探究が継続的に進んでおり、その中で、特に深めたいものが具体化され、地域・社会での原体験や高校での教科学習との繋がりから意味づけされている」とことと設定した。

前期は、「高校に通う意味、高校と大学の学びのちがいとは?」から始めて、「『アフターコロナ』の社会を表現するⅠⅡ」、「自分が研究したいことは」、「自分が研究したいことの既知と未知の境界を考えるⅠⅡ」、「既知と未知の言語化・共有と深化」等のテーマに係るワークを経て、「夏の陣」(自分の探究を深めることに対して専門的に応援してくれる人に会って自分の探究テーマにおける「重要な未知」を見つけてくる取組)に向けて準備し臨んだ。

後期は、「夏の陣」の振り返りと自分の探究テーマにおける「重要な未知」を起点として、「未知への対峙」の方法について考え、「異なる分野の知識を組み合わせ新しい価値を創造するⅠⅡ」、「私の探究テーマと修学旅行ⅠⅡ(仮設の設定と検証)」、「私の探究テーマの未知と



は」、「未知への対峙の方法とは」等のテーマに沿って、ワークを重ねて1学年同様に「冬の陣」(自分の探究テーマの未知に対して、自分らしいアプローチをしてみる取組)に向かう予定である。「冬の陣」の集大成として、成果を全生徒で共有するため、振り返るとともに自分の探究テーマに関する論文作成までを目指している。



(2) 「夏の陣」における実践

大テーマを「2030年の高校での授業をやってみる」と設定して、7月20日から28日までの連休を挟む5日間実践した。スケジュールは次のとおり。1日目は教員による「本当はこんな授業やってみたかった」授業見学、2・3日目は2030年の高校授業づくり、4日目(一般公開)は授業(20分)・振り返り(5分)6セット、5日目は授業3回転・振り返り。

実践に当たっては、次の2点「新型コロナの影響やITの活用、そして学習指導要領改正など、多面的な変化のあと、高校はどんな学びを行う場所になるのか、実際にチームで授業を行う」「テーマは、自由であるが、2030年時点の最新であろうと考えられる授業とし、受講者に理解と納得感を得られるものとする」に留意した。また、授業を行う前提として、「とにかく、深く、マニアックに2030年で授業をしていることを忘れない」「2030年の大船渡高校が、毎日通学するものであるかどうかは不明である」ことを確認した。

実際には、生徒は80チームに分かれ探究テーマを設定し、ありとあらゆる分野に関するユーモアあふれる授業を自由に展開した。「音楽がスポーツに与える効果(スマホの記憶力ゲーム活用)」、「もし春秋戦国時代にコロナが流行(はや)ったら…(キングダムを引き合いに)」、「22世紀にはドラえもんの世界は実現しているのだろうか?(どこでもドアの活用)」等を授業テーマに取り上げ、大人が到底思いつ

かないような発想が随所に見られ、非常に印象深い取組となった。また、一般公開には、県内他校から生徒46名・教員29名が見学に訪れ、授業にも参加していただき、生徒同士が探求のあり方を互いに理解しあい、交流を深められたことは、今後の大船渡学にとって、とても貴重で大きな刺激を得る機会となった。

2. 実践のまとめ

1・2学年ともに、それぞれの到達点に向け、ペア・グループワークを通じ準備して、「夏の陣」においては、学年・グループごとに進歩状況に違いが見られたものの、目指した目標に着実に近づいた気がする。1学年では、大船渡学の概要と探求の仕方について学び、それを今後の高校生活にどう生かしていくかを把握する契機となった。また、2学年では、昨年培った大船渡学の経験を生かしながら、自己の探求テーマに迫り、進路選択に対するモチベーションの向上に繋げることが出来た。初の試みであったが、前述の他校生をも交えてアクションを起こす取組は、今後も、ぜひ継続していきたいものである。

3. 今後の課題

通常授業での取組に加え、長期休業中に「夏の陣」「冬の陣」を実施する形に変えて2年目となり、生徒・教員ともに要領を掴み、この体制が軌道に乗りつつある。

「大船渡学」開始以来、「全教職員共通理解の下で、運営がなされているか」、「全生徒に大船渡学に意義が浸透し切れているか」、「全生徒が真に意欲を持って取り組んでいるか」等が究極の課題として存在しているが、その克服に向けて困難は伴うものの、工夫改善する歩みを決して止めることなく、今後も、生徒の「自走力」を高め、「教員は伴走者であり続けること」を肝に銘じて前進し続けたい。



同窓生だより

きっかけは友人の一言

教師 坂本 有希
(第41回生・平成3年度卒業)

教職に就いて22年が経とうとしている。今回、同窓会報寄稿という貴重な機会をいただいたので、教師になるまでの経緯、そしてこれまで考えてきたことを振り返ってみたい。

「地球の裏側にある水はなぜ下に流れ落ちないの。」こんな疑問を抱いて祖母を困らせていたのが私である。幼稚園児の私は地球が丸いことは知っていたが、重力については理解していなかった。自分の見えている世界で、物体は下に落ち、地球の裏側でも同じ向きに物が移動すると考えていたのだ。もしそうであれば、水だけでなく、人間も動物も何もかもその方向に落ちていくだが…。そんな私は、どうやら自分は自然科学に興味があり、得意でもあると自覚し始め、中学生の頃にはぼんやりと理系の仕事に就きたいと考えていた。

教師を目指した最初のきっかけは大高3年G組での放課後の会話だと思う。自動車関係、医療関係それぞれの仕事を志していた友人2人と何も決めていない私。「小学校の先生に向いているんじゃない。」多分2人は覚えていないだろうが、この言葉で私の受験する大学が決まった。今の自分があるのは2人のおかげである。もう20年以上も会っていないが、次に会ったときには感謝の気持ちを伝えたい。

さて、大学に進学した私がそのまま教師を志したかと問われればそうではなかった。大学4年次に教員採用試験を受験せず、教育実習を終えても教師への意思は固まらなかった。その理由は私の幼少の頃からの興味とつながる。解明したい研究テーマ(アルカリ金属イオンとクラウンエーテルの錯形成反応)と出会ったからだ。

私は大学院に進学し研究に打ち込むことにした。ここでやっと教育の道に進むことを決断することになる。大学院では、研究とともに学生の実習指導も行っていた。忘れもしない中和滴定の実験。そこで私が指導していた学生の「できた、わかった」に強く共感し

ていた。教育実習でも同じような経験はしていたが、この時初めて全身で感動したことを鮮明に思い出す。この経験は、自分のそれまでの教師が学習者に教えるという教育観ではなく、教師と学習者が共に学ぶという教育観に気付かされた出来事であったと思う。そして、大高でのきっかけから7年、やっと教師になろうと決断した。

教師になってからの私のモットーは、生徒に新しい世界を実感させること、そのための手助けをすることである。新しい世界とは決して難しいことではなく、知識、スキル、考え方、視点などのことであり、生徒がそれらを自覚できることが生涯学び続けていく上で重要だと考えている。そのためには、日々、自然の中に生徒の興味関心を高め得る教材を探している。

写真1は、昨年6月に三陸町越喜来の浦浜川河口付近で撮影したものである。きれいな青空が広がっている。同じ場所で時刻を変えてみるとどう見えるだろうか。写真2は、同日の深夜に撮影したものである。撮影の時刻、そして、カメラのシャッタースピードを変えると、同じ場所でも全く違った世界があることに気付くであ

ろう。自然科学においては、このような日常の当たり前とのギャップが興味関心を高めるきっかけとなり得る。授業で魅力的な教材を提示し、生徒がどのように解決するのか。生徒の様々なアイディアや解決策を見て、聞いて、学ぶことができる点は教師という仕事の醍醐味である。だからこそ授業づくりにも力が入る。

最後になるが、教師になるきっかけを与えてくれた友人。「俺は日本一の数学教師になる」と同じ教師として刺激を与えてくれた友人、職は違っても「お互い頑張ろう」と励ましてくれる友人、振り返ってみると私は大高の友人に恵まれていると実感している。

今度、ゆっくりと話をしたいと思っている。

写真1



写真2



令和2年度 部活動戦績【全日制・定時制】

※各部活動の成績の詳細は本校ホームページでご確認下さい。

全 日 制

バレー・ボール部

- 第73回全日本高等学校バレー・ボール選手権岩手県予選会
【女子】
3回戦 大船渡 0-② 盛岡誠桜 (8-25) (17-25) ベスト8
2年1組 松田由希菜 優秀選手賞

弓道部

- 第59回(R2)岩手県高等学校新人大会
【男子】団体
近藤 天 川原莉希 金野悠真
新沼慎一朗 佐々木光輔 船本充輝
予選(40射) 19中 ベスト8
決勝トーナメント
大船渡 7中-13中 福岡工業

バスケットボール部

- 第41回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会兼第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会
【男子】
2回戦 大船渡 69-79 花巻南 ベスト16

ソフトテニス部

- 令和2年度岩手県高等学校新人大会
【男子】個人
鈴木颯真・千葉健斗 ベスト4 U17-20大会・選抜インドア出場権獲得
菅野伴聖・千葉晃 ベスト16 U17-20大会・選抜インドア出場権獲得
【男子】団体 ベスト8 選抜インドア出場権獲得
【女子】個人
森 咲良・神津凜 ベスト16 U17-20大会・選抜インドア出場権獲得
【女子】団体 準優勝 選抜インドア出場権獲得

- 岩手県高等学校選抜インドアソフトテニス大会
【男子】団体 第3位

陸上競技部

- 岩手県高等学校新人大会陸上競技
【女子】
100Mハードル 今野文遙 第3位 東北大会出場
女子七種競技 今野文遙 第2位 東北大会出場

- 東北高等学校新人陸上競技選手権大会
【女子】
女子七種競技 今野文遙 第4位

柔道部

- 第53回岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会記録会
【男子】個人
66kg級 佐藤 希空 第3位
81kg級 中井慎之介 第3位

- 第65回岩手県高等学校新人柔道大会

- 【男子】個人
66kg級 佐藤 希空 4回戦敗退 ベスト8
66kg級 千葉 蒼竜 決勝戦敗退 第2位
73kg級 佐々木陽生 4回戦敗退 ベスト8

- 【女子】団体
2回戦 大船渡 0-② 盛岡中央 ベスト8 高校総体シード権獲得

- 【女子】個人
52kg級 田村 まき 3回戦敗退 ベスト8
57kg級 坂本 いと 3回戦敗退 ベスト8

- 第43回全国高等学校柔道選手権大会
岩手県大会

- 【男子】個人
66kg級 千葉 蒼竜 準決勝戦敗退
第3位 東北大会出場権獲得

- 第43回全国高等学校柔道選手権大会
東北地区大会

- 【男子】個人
66kg級 千葉蒼竜 1回戦敗退

卓 球 部

- 第66回岩手県高等学校新人卓球大会
【女子】学校対抗
3回戦 大船渡 2-③ 花北青雲 ベスト16

空 手 道 部

- 第38回岩手県高等学校新人空手道大会
【男子】団体形 優勝 東北大会出場権獲得

- 【男子】団体組手 準優勝 東北大会出場権獲得

- 【男子】個人形
高橋 亨至 準優勝 東北大会出場権獲得

- 佐々木康大 第3位 東北大会出場権獲得

- 飛内 悟 第3位 東北大会出場権獲得

- 【男子】個人組手
-68kg級 富澤 舜基 優勝 東北大会出場権獲得

- 76kg級 原 圭佑 第3位

- 【女子】個人形
今野こはる

第3位

東北大会出場権獲得

- 【女子】個人組手

- 48kg級 今野こはる
-53kg級 小濱 芽生

第3位

第3位

- 第34回(令和2年度)東北高等学校空手道選抜大会

- 【男子】団体形 第6位

美 術 部

- 第43回岩手県高等学校総合文化祭
美術工芸展

- 絵画部門
新沼彩音「深潭(しんたん)」特賞

報 道 部

- 令和2年度第43回岩手県高等学校総合文化祭新聞コンクール
タブロイド版・その他の部門
大船渡高校新聞103号 特別賞

演 剧 部

- 第43回岩手県高等学校総合文化祭演劇部門
『魔法少女の作り方』入門編 優良賞

書 道 部

- 第42回墨州院全国展

- 学生部 岡崎日菜子 大賞
一般部 川上 遥 岡崎日菜子 秀作賞

そ の 他

- 令和2年度ビブリオバトルin八戸
大川原菜摘 予選会優勝
決勝戦優勝
全国大会出場

- 第6回ビブリオバトルinいこま予選会
大川原菜摘 予選ブロック敗退

定 時 制

卓 球 部

- 令和2年度岩手県高等学校定通卓球競技秋季大会

- 【男子】決勝トーナメント
村上 啓斗 第6位
【女子】順位決めトーナメント
鈴木 美緒 第6位

進路状況（令和元年度卒業生）

全日制進路状況（令和元年度卒業生）

【全日制】(合格状況)

私立大学	
北海道科学大学	2
北海道文教大学	1
酪農学園大学	1
青森中央学院大学	4
弘前医療福祉大学	2
弘前学院大学	1
東北女子大学	1
岩手医科大学	5
岩手保健医療大学	3
盛岡大学	5
石巻専修大学	2
尚絅学院大学	5
東北学院大学	10
東北福祉大学	11
東北文化学園大学	1
宮城学院女子大学	4
秋田看護福祉大学	2
日赤秋田看護大学	1
東北芸術工科大学	5
東北公益文科大学	2
つくば国際大学	3
作新学院大学	1
白鷗大学	3
群馬パース大学	1
埼玉工業大学	2
駿河台大学	1
東京国際大学	2
日本医療科学大学	1
日本工業大学	1
文教大学	1
千葉工業大学	10
明海大学	1
大妻女子大学	1
北里大学	1
慶應義塾大学	1
駒沢女子大学	3
実践女子大学	1
芝浦工業大学	1
成蹊大学	(1)
洗足音楽大学	1
大東文化大学	1
玉川大学	2
多摩美術大学	1
津田塾大学	3
東海大学	1
東京家政大学	1
東京歯科大学	1
北日本医療福祉専門学校	1
国際医療福祉専門学校	2
合 計	54(1)

公立大学	
はこだて未来大学	システム 1
名寄市立大学	保健福祉 2
青森県立保健大学	健康科学 5
青森公立大学	経営経済 3
岩手県立大学	社会福祉 1
	総合政策 3
宮城大学	事業構想 1
	食産業 1
秋田県立大学	生物資源 1
群馬県立女子大学	文 1
	総合教養 1
高崎経済大学	経済 4
都留文科大学	文 3
	教養 3
静岡県立農林環境専門職大学	生産環境経営 1
長野県立大学	グローバル 1
合 計	32

明星大学	
立教大学	1
早稲田大学	1
神奈川工科大学	4
相模女子大学	1
日本映画大学	1
同志社大学	1
立命館大学	1
関西外国語大学	1
九州工業大学	1
福岡大学	1
合 計	139(1)

各種学校	
盛岡公務員法律専門学校	1
東京アカデミー仙台校	1
仙台カフェパティシエ	1
デジタルアーツ仙台	1
日本工学院専門学校	2
日本工学院八王子専門学校	1
合 計	7

公務員	
国家公務員一般	1
刑務官	1
岩手県警	1
合 計	3

公立短大	
岩手県立大宮古短大	8
岩手県立大盛岡短大	1
山形県立米沢女子短大	2
会津短大	2
大月短大	1
静岡県立大短大	2
合 計	16

就職	
コナン販売	1
劇団わらび座	1
千葉ロッテマリーンズ	1
合 計	3

【定時制】	
令和元年度卒業生	
就職	
ゆわて吉田工業株式会社	1
杜陵高速印刷株式会社	1
合 計	2

進学	
専門学校札幌ビジュアルアーツ	1
合 計	1

看護・医療系専門学校	
弘前病院附属看護学校	1
一関高等看護学院	2
盛岡看護医療大学校	1
水沢学苑看護専門学校	1
気仙沼市立看護学校	1
埼玉県立高等看護学校	1
深谷大里看護専門学校	1
東京歯科衛生専門学校	1
北日本医療福祉専門学校	1
国際医療福祉専門学校	2
合 計	12

進学	
学校法人三橋学園船橋情報ビジネス専門学校ITエンジニア科	1
上野法律専門学校法律行政学科	1
菅原学園仙台総合ペット専門学校トリマー科	1
合 計	3

